

日本鐵鋼協會記事

1. 昭和 24 年度第 11 回理事會 日時：24-8-3 (水) 10 時 30 分～19 時 30 分。場所：協會々議室。出席者：(會長) 山岡武(副會長) 志村清次郎(理事) 芥川武，繪野澤喜之助，菊地浩介，松永陽之助，横山均次。(前會長) 俵國一，三島徳七，(監事) 田中清治，(常務委員) 石田四郎，石原善雄，佐々川清，俵信次，毛利惣之。(主事) 金谷三松

報告事項. 1. 昭和 24 年度第 5 回編集委員會 日時：24-7-20 (水) 16 時 30 分～19 時。場所：協會々議室。出席者：(理事) 菊地浩介君(編集委員) 伊木常世君，佐藤忠雄君，長谷川正義君，濱本甲子生君，吉田道一君，(主事) 金谷三松(報告)。(1) 昭和 24 年度 7 月號は 7 月 12 日竣成發送ズミ(双文社)(2) 同 8 月號は 8 月 15 日に竣成の豫定(博洋社)本號には秋季大會案内狀を刷り込む爲め實際發送は 8 月下旬となる見込み。(3) 日本工業技術總覽用抄録(鐵と鋼 24 年 6 月號論說抄録—兒子君擔當) 途付すみ。(4) 第 37 回講演大會講演者(技術論文) して原稿寄投方勸誘狀發送すみ。

(協議)(1) 昭和 24 年 11 月第原稿選定の件 (2) 日本工業技術總覽用抄録(鐵と鋼 7 月號) 擔當者指名の件 決定 濱本甲子生君に依頼のこと。(3) ヘース氏講演の抄録を會誌に掲載の件決定。11 月號に掲載のこと。(4) 維持會員へ奉仕の一端として年一回位負擔口數に應じ大きを異にする等の方法にて會誌に營業廣告を無料掲載の件決定。その營業種目，資本金，重役氏名等掲載事頭を立案の上準備のこと尙ほ本件は理事會の承認を受くるを要す(註。24-8-3 理事會にて承認)。(5) 去る 5 月より募集中の鐵鋼要覽第 3 版發行につき豫約注文を募集中のところ本日迄に應募者僅に 55 名に過ぎず。依つて今回は出版見合せのこととする。

協議事項. 1. 今秋第 38 回講演大會實施に關し實行委員長に於て準備の狀況の件承認 全部原案通り。内役員氏名次の通り。一實行委員長 角野尙徳君 實行委員 今井弘君(九大工) 谷村熙君(九大工) 嘉村平八君(九大工) 大慈彌嘉久君(福岡通産局) 湯本武君(小倉工機) 安永渡平君(八幡) 須永己代治君(八幡技師長) 小平勇君(八幡技術)

遠藤勝太郎君(八幡技研) 和田龜吉君(八幡製鐵) 蜂谷茂雄君(八幡製鋼) 北村外喜男君(八幡鋼材) 中村爲嗣君(小倉製鋼) 八田篤敬君(不二越歴延) 青木好磨君(東京製網) 西村清三郎君(東海鋼業) 宮下格之助君(日立若松) 本田深治君(日本鋼業) 松本兼二郎君(黒崎室業)

幹事 三ヶ島秀雄君(九大工) 武田喜三君(八幡作業) 中尾常世君(八幡技研) 間端夫君(八幡技研)

(2) 會費値上げの件—決定 原案として，入會金 正會員 80圓/50圓 學生會員 30圓/30圓 會費年正會員 500圓/300圓 學生 200圓/120圓 終身會員一時 3,000 圓以上を 5,000圓以上とす。以上の外値上げせず。(3) 鐵鋼技術史部發行の件—決定。1 冊 600圓 程度とし，日本鐵鋼連盟にて發行すること。(4) 昭和 24 年度 7 月分收支決算審議の件—承認 (5) 入退會者其の他會員異動の件—承認。(6) 熱處理作業標準調査に要する豫算表作製の件 決定委員長石原善雄君に依頼のこと。(7) 學術會議員候補者の資格に關する件—尙ほ研究のこと。

會告

1. 鐵鋼要覽第 3 版起版につき要望者の數を承知いたしたく，5 月以來募集して來ましたか本日迄の要望の方は僅に 55 名に過ぎませんので再發行は今暫時見合せのことゝいたします。以上悪しからず御諒承下さい

＝ 會 告 ＝

待望の 鐵鋼技術史 發賣豫約

豫て政府の依囑により學術振興會で斡旋中であつた、戰時中の我邦科學技術史の編纂中、鐵鋼技術史に關しては本協會が専ら之にあたることとなつたので、本會では副會長志村清次郎君を委員長とし別項の通り各部門夫々の最大權威者を網羅し絶大の努力と莫大の經費とを以て我邦近年鐵鋼に關する貴重なる苦心探求の結果を文獻として後代に遺すべく點綴することが出來た。乃ち本書は將來學術研鑽の士の唯一の好伴侶であつて又一刻も離すべからざる座右の銘であることを明言して憚らない。但し冊數に限りあり此好機を逸せず今直ぐ次記要領により豫約申込みれたく茲にお勧めいたします。

申 込 要 項

- (1) 豫約申込締切月日 昭和 24 年 10 月 15 日
- (2) 竣工、昭和 24 年 12 月中旬 (代金引換へで配本します) の豫定
- (3) 豫約申込所 東京都千代田區丸ノ内 2ノ10、仲 14 號館 1 號

日 本 鋼 協 鐵 會

B型5號版 364 頁 (圖表・寫眞版共)
一冊代價 約 600 圓 (目下交渉中)

電話丸ノ内(23) 3626 番
振 替 東 京 193 番

鐵 鋼 技 術 史 内 容 及 執 筆 者

序文 山岡武君、緒言 志村清次郎君、

- 第 I 編 鑛石及溶劑 (責任者、安田勇治君) 第 1 章、鑛石 (安田勇治君、白石芳雄君) 第 2 章、溶劑 (安田勇治君、白石芳雄君、成廣清士君)
- 第 II 編 燃料 (責任者、大野宏君) 第 1 章、石炭及コークス (大野宏君) 第 2 章、重油、タール及ガス (村田巖君、西郷吉郎君、木原克巳君)。
- 第 III 編 耐火材料 (責任者、河内通君) 第 1 章、酸性耐火材料 (河内通君) 第 2 章、中性耐火材料 (河内通君) 第 3 章、鹽基性耐火材料 (河内通君)
- 第 IV 編 電極 (責任者、寒川恒一郎君) 第 1 章、天然黒鉛電極 (寒川恒一郎君) 第 2 章、人造黒鉛電極 (寒川恒一郎君) 第 3 章、其他の電極 (寒川恒一郎君)
- 第 V 編 鐵屑 (湯川正夫君) ○第 VI 編 製鉄法 (責任者、里村伸二君) 第 1 章、熔鑛爐法 (里村伸二君 和田龜吉君) 第 2 章 電氣爐法 (向山幹夫君) 第 3 章、バツセー法 (梅津七藏君、垣内富士雄君)
- 第 VII 編 フェロアロイ製造法 (責任者、笹部誠君) 第 1 章、フェロシリコン及金屬珪素 (笹部誠君) 第 2 章、フェロマンガン (高炭素及低炭素) スピーゲル、金屬マンガン及シリコマンガン (笹部誠君、芹澤正雄君) 第 3 章、フェロクローム (高炭素及低炭素) シリクローム (笹部誠君) 第 4 章、其他フェロタンゲストン、フェロモリブテン、フェロワナヂウム、フェロチタン、フェロホスホル、カルシウムシリサイド等 (笹部誠君)。

- 第 VIII 編 製鋼原鐵製造法 (責任者, 佐々川清君) 第 1 章, ルツペ (廣瀬政次君) 第 2 章, 海綿鐵, 棒鐵等 (佐々川清君, 及川象平君) 第 3 章, 電解鐵 (花岡元吉君) 第 4 章, 電氣爐原鐵 (花岡元吉君)
- 第 IX 編 普通鋼及其製造法 (責任者, 蜂谷茂雄君) 第 1 章, 普通鋼の種類 (蜂谷茂雄君) 第 2 章, 平爐法 (蜂谷茂雄君) 第 3 章, 電氣爐法 (蜂谷茂雄君, 池田正君) 第 4 章, トーマス轉爐法 (木下恒雄君) 第 5 章, 造塊法 (蜂谷茂雄君)
- 第 X 編 特殊鋼及其製造法 (責任者, 吉川晴十君) 第 1 章, 特殊鋼の種類-合純鐵 (伊木常世君, 佐藤忠雄君, 唐澤典雄君) 第 2 章, 平爐法 (吉川晴十君, 藪内周三郎君, 土居寧文君, 近藤八三君) 第 3 章, 電氣爐法-合併法 (吉川晴十君, 藪内周三郎君, 兒玉藤雄君, 近藤八三君) 第 4 章, 造塊法 (吉川晴十君, 藪内周三郎君, 土居寧文君, 兒玉藤雄君, 近藤八三君)
- 第 XI 編 製鉄及製鋼反應 (責任者, 田中清治君) 第 1 章, 製鉄反應 (澤村宏君) 第 2 章, 製鋼反應 (田中清治君)
- 第 XII 編 鋼の加工法 (鑄物製造に關しては凡て鑄物協會に於て擔當のことに協定) 第 1 章, 壓延法 (平世將一君, 北村外喜男君) 第 2 章, 鍛造法 (小林佐三郎君, 佐々木吉備三郎君, 阿部信男君, 川村宏友君) 第 3 章, 深絞法 (藪内周三郎君, 植村吉明君) 第 4 章, 引拔法及線引法 (木下重信君, 新保起夫君)
- 第 XIII 編 鋼材の熱處理法 (責任者, 小林佐三郎君)-鋼の熱處理理論は金屬學會擔當のこととし本論にては主として大型鋼材の實地熱處理法を取扱ふものとす。第 1 章, 燒準及燒鈍法 (小林佐三郎君, 大島景次君) 第 2 章, 燒入及燒戻法 (小林佐三郎君, 大島景次君)
- 第 XIV 編 鋼の表面硬化法 (責任者, 芥川武君) 第 1 章, 滲炭法 (關口次郎君) 第 2 章, 窒化法 (關口次郎君) 第 3 章, 表面燒入法 (芥川武君)
- 第 XV 編 特殊製品の製造法 第 1 章, 鈹力板製造法 (藤木俊三君) 第 2 章, 亞鉛引鐵板製造法 (毛利一雄君) 第 3 章, 珪素鋼板製造法 (中島道文君) 第 4 章, 特殊鋼板製造法其の 1 (伊木常世君, 堀川一男君) 第 5 章, 特殊鋼板製造法其の 2 (錦織清治君) 第 6 章, 鋼管製造法 (望月要君) 第 7 章, 高壓容器製造法 (小田助男君) 第 8 章, ボールベアリング用線製造法 (藤木俊三君) 第 9 章, ピヤノ線製造法 (江塚保君, 高尾善一郎君) 第 10 章, 熔接棒製造法 (伊丹榮一郎君, 高尾善一郎君) 第 11 章, 燒結鐵製品製造法 (窪田治夫君) 第 12 章, 磁石製造法 (三島徳七君) 第 13 章, 其他アルフェロ, フェリタル, 其他の純鐵瓦斯タービン材, 眞空管材等の製造法 (俵信次君, 池田正君, 佐藤忠雄君)
- 第 XVI 編 鋼の材質改善に關する問題 第 1 章, 白點其他鋼の缺陷及其防止法 (室井嘉治馬君) 第 2 章, 非金屬介在物に依る鋼の品位判定法 (室井嘉治馬君) 第 3 章, 鋼の粒度判定法 (河合正吉君) 第 4 章, 鋼中の瓦斯定量法 (大中都四郎君) 第 5 章, 鋼中の非金屬介在物定量法 (森脇和男君) 第 6 章, 鋼の溫度測定法 (菅野孫君) 第 7 章, 鋼種判別法及鋼材検査法 (玉置正一君)